

CDI 講演会

Creative Department for Innovation

◆日時 平成28年**11月29日(火)** 14:30~17:00

◆場所 **アカデミアホール**(宇都宮大学工学部 陽東キャンパス)

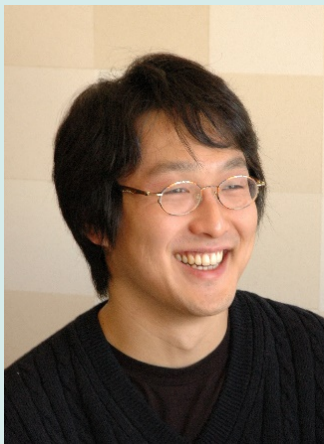
全身・全脳透明化の先に見えてくるもの

講演 I

～ 体内の「時間」を理解する ～

(14:35 ~ 15:35)

講師 **上田 泰己 氏** う え だ ひ ろ き 東京大学大学院医学系研究科 教授
理化学研究所(QBiC) グループディレクター



生命科学・医科学においてシステム科学的なアプローチを実現するため、我々は最近成体組織を丸ごと透明化し1細胞解像度で観察できる技術の開発に取り組み、マウス成体全身の透明化を世界で初めて実現することに成功した。開発したCUBIC法は、脂質や血液を豊富に含む組織をアミノアルコールの脱脂作用・色素除去作用により透明化する。この技術に基づく全身・各種臓器の全細胞解析は、細胞と個体の階層においてシステム科学的なアプローチを提供し、解剖学・生理学・薬理学・病理学などの医学の各分野に対して、今後の貢献が期待される。



マウス全身の透明化(左:成獣、右:幼獣)

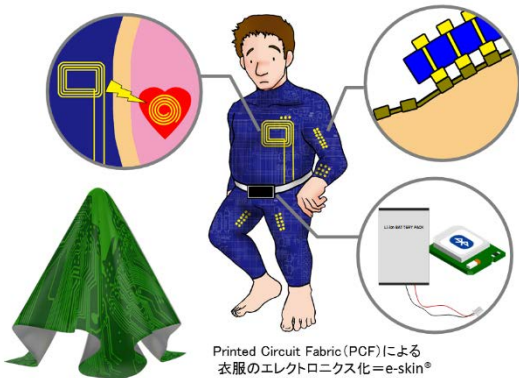
ウェアラブル・エレクトロニクスのその先へ

講演 II

～ 大学からの社会実装 ～

(15:45 ~ 16:45)

講師 **網盛 一郎 氏** あ み も り い ち ろ う 株式会社Xenoma 代表取締役CEO



Printed Circuit Fabric(PCF)による衣服のエレクトロニクス化=e-skin®

Apple Watchに代表される「ウェアラブル・エレクトロニクス」は、今や流行りが過ぎてパスワード化した感がある。しかしその影で米国は、2016年4月よりAdvanced Functional Fabrics of America (AFFOA)というプロジェクトを開始し、5年間に3億2000万ドルを投じてMITと大手企業を中心にこれまでにない糸や繊維を開発している。2015年11月にERATO染谷生体調和エレクトロニクスプロジェクトからスピンオフしたXenomaが、大学発ベンチャーとしてこの分野において何に取り組み、何を目標しているのかを、イノベーション論の視点から紹介し、議論させていただきたい。



主催 宇都宮大学 地域共生研究開発センター イノベーション創成部門
共催 宇都宮大学 工学研究科
連絡先 CDI事務室 TEL&FAX 028-689-7006